



FÛ

EN

楓園

CONTENTS

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 — 特集 学長対談「女子大学の特色ある可能性を目指して」
— 惠泉女学園大学学長 木村利人先生と語る — | 12 — この人に聞く 指原いく子 |
| 5 — 東洋英和幼稚園 NEWS・かえで幼稚園 NEWS | 13 — 聖書の言葉・英和探訪 |
| 6 — 小学部 NEWS | 14 — お別れの言葉 |
| 7 — 中高部 NEWS | 15 — 学院人事 |
| 9 — 大学 NEWS | 17 — 2008年度行事予定 |
| 11 — 行事報告 12月～2月 | 19 — 英和の植物通信・同窓会より
後援会より・お知らせ |



■ 春の日の園庭

温かい陽射しの下、色とりどりのきれいなチューリップの咲く園庭で
子ども達は元気に遊んでいます。

東洋英和幼稚園

女子大学の特色ある可能性を目指して―木村利人先生と語る―

都に上る歌。

目上げて、わたしは山々を仰ぐ。
わたしの助けはどこから来るのか。
わたしの助けは来る

天地を造られた主のもとから。
どうか、主があなたを助けて

足がよろめかないようにし

まどろむことなく見守ってくださいるように。

見よ、イスラエルを見守る方は

まどろむことなく、眠ることもない。

主はあなたを見守る方

あなたを覆う陰、あなたの右にいます方。

詩編 一二二編 一〜五節

建学の精神という個性を活かす

鮑戸 日本の大学は、これから吸収・合併されるところも出るだろうという厳しい状況の中にあるわけですが、そんな中で、本日はいろいろなお話をうかがいたいと思います。

私は、東京大学と埼玉大学という国立大学に二三年勤めました後、私立の本学に着任して一三年経ちました。先生は外国生活が長かったようですが。

木村 私は、タイのチュラロンコン大学に四年、ベトナムのサイゴン大学に二年、スイスのジュネーブ大学に三年、ハーバード大学に二年、それからジョージタウン大学に二〇年、人生の半分くらいを外国で過ごしました。帰国してからは、早稲田大学の人間科学部で教え、その後恵泉女学園大学の学長になりました。

鮑戸 お互いそういった経歴ですが、まず私学の特徴と言いますと、「個性」が大切になります。どういう建学の精神で、どういう理想を追求していくのか。その理念を社会にアピールして、受験生やご家族の方も説得していきます。学部学科の改組といったこともあります。まず何よりこの建学の精神といったものが大事になります。学長会でも最近では理念競争のようなことがおこっています。先生のところの恵泉女学園の理念は非常に

つきりしていらつしやいますね。

木村 恵泉は「聖書」と「国際」と「園

「夢」を持つことの大切さを学んでいってほしいですね。



恵泉女学園大学学長 木村利人
東洋英和女学院大学学長 鮑戸弘

究です。それぞれテレビに関係すること
で長年テレビ研究をしてきました。

放送倫理・番組向上機構（BPO）の
理事長を引き受けましたのは、大好きな
テレビへの恩返しのもりです。政府な
どから干渉される前に、テレビ業界の自
助努力で放送倫理を改革できるよう手助
けしています。私にとっては専門中の專
門分野が実社会で活用できる接点です。

木村 アメリカでも「AmusingOurselves
のDeath」という著作で有名なニール・
ボストマンという評論家が出て、テレビ
の教育における役割などについて書いて
いますが、今の学生達はテレビと共に育
っています。そうした学生達を教育する
のですから、講義スタイルも考える必要
がありますね。先生はどうなさっていま
すか。

鮑戸 私の授業は古色蒼然たるスタイル
なのですが、今の子達はマンガなどはす
ごいスピードで読むのですよ。五分く
らいで一冊読んで全部頭に入っているの
です。携帯電話のメールなどもとても早
く打ちます。そういった新しい能力を持
っているのですよ。古い言語や文章は
読めなくても、新しいリテラシーが育っ
ているのですね。そういう意味では、大
学の先生は黒板だけで授業しているよう
ではだめで、私も最近はパワーポイント
などを活用し、テレビ番組を見せたりし
て授業をしています。子ども達の学力が落
ちたと言いますが、今の学力テストでは
計れないような能力を持っているのです

よ。それを伸ばしたいですね。

木村 学習の仕方の大きな変革の時です
ね。そういう学生のニーズに添えていく
メニューを出していかなければならない
ですね。私どもの「生活園芸」という教
科では、土に触れ、肥やしをつくり、土
を耕し、種をまき、収穫したものを持ち
帰りご家族に食べていただく、いのちの
体験学習です。今年度、この「生活園芸」
は、文部科学省による「特色ある大学教
育支援プログラム（特色GP）」に選定
されました。

留学から得られる大きな学び

木村 留学というのでも大きな体験学習で
す。長期か短期、海外で学習する、それ
をまた帰ってきてフォロアアップして学
習する。我々はタイの国立チェンマイ大
学に「恵泉ルーム」というのを持ってい
まして、長期的に現地で生活しつつ海外
体験学習ができるようにしています。全
員が行けるわけではないのですが、大変
注目されまして、今から二年前に「体験
学習」として特色GPを取りました。

鮑戸 二〇〇七年の大学改革により国際
社会学部、国際コミュニケーション専攻
では、短期ですが、希望者全員が交換留
学生として、海外留学、海外研修に行く
ことができるように準備をしています。
さらに今後は外国人留学生（四年制）も
大幅に増やしていきたい。残念なこと
に、今は外国人留学生は数人しかいないの
ですが、将来的には三〇〇名くらいは

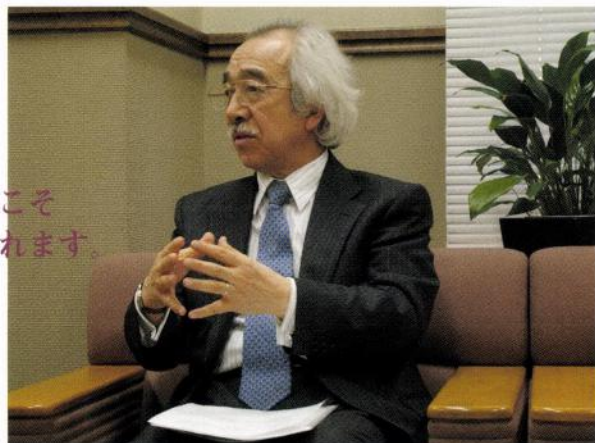
受け入れていきたい。学内で異文化交流
ができるよう努力していきたいのです。

木村 恵泉では河井道先生が一九三〇年
代に留学生のための別科を設置し、留
生が常にいる環境でした。恵泉には現在
一九〇〇人の学生が在学していますが、
そのうち一二〇名が留学生です。そうい
う留学生の存在が学内にインターナシ
ョナルな環境をつくり出してきていま
す。中国、韓国、ベトナム、タイ、ペ
ル、ミャンマー、ブラジルからの留
学生や、中国、韓国、米国籍の先生方もいら
っしゃいます。アジアの視線から平和を
目指せるような大学として、一〇カ国の
言葉を選択できるようにしました。留
学生が母国で日本語が教えられるように、
大学院修士課程で人材も育成していま
す。英和さんも英語教育が有名ですね。

鮑戸 「英語の英和」と言われているの

ですが、先ほどの交換留学生制度でも、
今はまだ、学生数も一ヶ台です。将来
的には七〇〇名くらいが毎年海外に
出て行くようになる、という計画です。

三カ月から半年の留学・研修期間中、
何をしてきてもいい。語学なんか上手く
ならなくてもいい、あらゆる体験をして、
大いに恥をかいてきなさい、自分と違う
文化や生活を、よく見て、体験してきな
さい、と言っています。私などは英語大嫌
い、外国人も苦手といったような研究者
だったのですが、四〇歳くらいになって
初めて選挙の日米比較研究が目的で、オ
ハイオ州のコロンバスで一年間暮らした



女子大学という環境でこそ
リーダーシップが育まれます。

のですが、アメリカが大好きになっ
てしまいました。その一年で人生が変わり
ました。だから学生達にもとにかく海外に
行きなさいと大いに勧めています。

木村 語学というところで申しますと、た
だ単にしゃべればいいのではないので
す。言語は背後に歴史・文化を背負って
います。学生達には深い文化的な広がり
を持つたところでの外国語を身につけて
ほしいのです。外国語を通じてのコミュ
ニケーションから得られる安心感や喜び

から語学の世界を広げてほしいです。特に恵泉では日本とアジアの関わりを戦前までさかのぼって理解していきたいのです。グローバルな国際的意識を育てるために学生達にはアジアに目を向け、日本の侵略戦争への反省もふくめて学んでほしいのです。

厳しい時代に学生を惹きつける

鮑戸 この数年、大学が置かれた状況は年ごとに厳しくなっています。そうした中で恵泉さんは受験生が増加していらっしやいます。こういった工夫をされているのですか。

木村 恵泉では、二〇〇七年には四一〇の定員に対して三九二八人の志願者がありました。入試担当が工夫してくれまして、組織的な高校訪問、高校への出前講義といったことを積極的に展開しています。海外体験学習のリスクマネジメントもしつかりやっていると評価をいただいております。英和さんではどうですか。

鮑戸 去年から教員の高校訪問に力を入れ始めました。

木村 オープンキャンパスも回数を増やし、学長自らが参加しまして、夏休み期間だけでなくクリスマススペシャルというところで開催し、挨拶をして、直接保護者の方々に目にかかります。「大学報」も活用しています。

鮑戸 最近熱心にご家族がオープンキャンパスに参加されますよね。

木村 ご家族の中に卒業生もいらっしや

いますしね。

鮑戸 うちにも英和ファミリーとしておばあ様の代から英和を愛してくださっている方々がたくさんいらっしやいます。

木村 私立は同窓生に支えられているというのがこの少子化の中の希望です。卒業生にこそ母校の良さを伝えてほしいですね。

女子大学でこそ可能な質の良い教育

鮑戸 英和はミッシヨンスクールらしくのびのび、おっとり、あんまり勉強はしないのですが、積極的で、やさしい人柄の子が育っています。そういった校風と、先輩達のおかげで、企業の評判も良く、大変就職率が良いのです。

木村 恵泉の創始者河井先生は、責任を持たされた時に「YES」と言って積極的に行動できるような女性の育成を目指しました。そういったことで周囲を恵み清泉のように豊かに潤していくような明るい女性を育てようとしたのですね。

鮑戸 女子大学でこそリーダーシップが

育つのですよ。英和の文化祭である「かえで祭」を見てましても、女性だけで企画・運営を立派に行っていく。その姿は

見事です。企業の方には共学よりも女子大学の女性の方がリーダーシップもあるのです。是非採用してほしいと勧められているのです。

木村 少人数で質の高い良質な教育が女子大学でこそ可能です。これからは女子大学の存在価値が増す時代です。

鮑戸 実際、女子の大学進学率は増えていきますしね。

木村 良い大学が良い教育をしていけば小さな女子大学でも目につきます。少子化の中でも未来は暗くないのです。

「夢」を持って学び、社会に貢献する

鮑戸 今の大学教育は実学重視、資格志向が潮流です。実際に役立つものが注目されています。しかし英和では少しそれに逆らっております。リベラルアーツ教育を大切にしています。大学の側の学問論と社会の要請とのせめぎ合いの

中で、大学が決断すべきものです。

企業でも、「夢」を訴えている企業が業績を伸ばしています。未来への「夢」を追求し続けられれば、その「夢」に対して消費者が反応します。大学でも同様で、我々も実学志向で資格取得にばかり流れると、学問するところである大学は大学でなくなってしまう。

木村 学生達はインターンシップを経験したり、就職することで社会に鍛えられて磨かれていきます。ですから大学はその素地をつくる役割を担っていて、社会のニードに妥協するのではなく、自分の意見をしっかりと持ちつつ、クリエイティブであり、豊かな恵みを社会で分かち合うような学生を育てる。恵泉の大学二〇年の歩みにふさわしいそういった人達が日本や世界に増えてきていることが我々の何よりも大きい喜びです。

鮑戸 私達の目指すのも社会に貢献する大学です。我々大学にはそういう役割が任されているのです。「夢」を持つことの大切さを学んでほしいですね。これからは大学にとって大変な時代がやってきますが、将来に「夢」を持ちましょう。勇気を持って困難な時代に立ち向かいましょう。

木村 英和さんの持つ名門の伝統、歴史の重みは何よりも素晴らしいものです。同じキリスト教系女子大学としてこれからもよろしく願っています。

鮑戸 本日はたくさんのお話をどうもありがとうございました。

これからは女子大学の存在価値が増す時代です



お餅つき

一月の寒い冬の二日間、幼稚園のホールではお餅つきが行われました。数日前に園長先生からお餅つきをするとう聞いた子どもたちは、この日が来るのを楽しみに待っていました。

一七日は年少組、一八日はひよこ組（三歳児）と年長組です。両日共、お父様二名とお母様四名にお手伝いをお願いしました。

ホールに集まり杵と臼を前にして待っていると、蒸し上がったばかりのもち米が湯気を立てながら運ばれてきます。「いいにおい!」「ごはんのにおいだ!」

と子どもたちは食欲をそそられ歓声が上がりました。早速臼に移しお父様が杵でこね、つき始めます。そのうちにそれに合わせるように「べったん!べったん!べったん!べったん!」と子どもたちからかけ声が掛かります。だいたいつけたところで子どもたちも短いさき杵を持って一人ずつ交代でついでみました。



た。ひよこ組は両手で持っても重たく、お父様に力を貸していただいでつきました。年少組は両手で持ち腰が入ってときどきベツタン!とよい音が聞こえます。年長組は二人で向い合って交互についてみました。

つきあがった熱いお餅はお母様がちぎってお皿に二つずつ入れてくださいます。海苔ときな粉の二種類から好きな味をつけていただきました。「やわらかい!」「あつたかくておいし〜い!」とつきたてならではのお餅に喜ぶ子どもたちの声が聞こえました。

年長組はお父様のついでている杵がどれ位重たいのか興味を持ち、持ち上げてみたところ、あまりの重さによろけてしまいました。あれだけの重い杵を振り上げていたお父様方はすごいなあと感じていました。たくさんの方々のご協力があったて美味しいお餅をいただくことができました。

教会につながるがってほしいー卒業を前にしてー

かえて幼稚園の子どもたちは週一回、幼稚園で礼拝を守っています。礼拝では、保育者が聖書の話を読みます。また、時には園で起こる、けんかやなまははずれの問題を「イエスさまだったら、どうなさるだろう」と保育者も子どもも、相手の立場になって考え、聖書の中に解決を見出します。年長組になると子どもたちの中には「月曜日の朝は礼拝がある」と張り切って登園する姿が見られます。

さて、卒業を前にした三学期、年長組は近隣の教会（日本キリスト教団まぶね教会）にバスに乗って出かけて礼拝を守ります。幼稚園で出会ったイエスさまと卒業してもつながってほしいとの願いをもつて、毎年行っています。

「教会ってどこなところだろう」「十字架がついているかなあ」と話しながら向かいます。教会では中原真澄牧師と教会学校のスタッフの方たちが暖かく迎えて下さいました。この日は年長組の約半数の有志のお母さま二十九人が参加されたのは嬉しいことでした。礼拝のメッセージはルカによる福音書二章七節「…あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられる。…」の箇所から、主に守られていることの恵みが語られました。

かえて幼稚園を卒業した後教会につながる人が何人もいること、そして、教会学校のスタッフをしているKさ

んやFさんのことを牧師先生から伺い、私は励まされて帰路につきました。

三月二〇日、子どもたちは「光の子として歩みなさい」（エフェソの信徒への手紙 五章八節）の聖句が書かれた聖書を持って幼稚園を巣立っていきました。これからも、主イエスと共にある歩みをしてほしいと祈っています。



年長組教会訪問（日本キリスト教団 まぶね教会）

小学部部长就任にあたって



小学部部长

山本 香織

思えばいくつもの「人生の転機」が、これまででありました。期待に心弾むうれしい変化、不安な出発、どうして？と言いたくなる始まり。でもそのいずれもが神様から与えられた転機、という点で等しいものであったと思います。だから神様にお委ねしてきました。

そして昨秋、神様はまた私に驚くばかりの使命をお与えになりました。「東洋英和女学院小学部の責任を負いなさい。」

今ご覧の「楓園」で、初めてこの出来事を知った同窓生の皆様は呆然としておられることでしょう。私は、ただただ楽しく英和での日々を送る生徒でした。このような将来があるとは予想もしていませんでした。しかし今にして思えばそうした英和での日々の中で、私の人生の土台となる礎が築かれたのだと思います。どう行動するのか、どう考えるのか、その時々私を動かすものは、与えられ、育てられていたと気づかされます。

だから私も同じように、この学院を巣立つ一人ひとりに、そこに立てば大丈夫という確かな土台を知ってもらいたいので

す。そうすればこの先出会う人生の窮地にも、迷い悩む時も、幸福で絶頂の時も、往くべき道を示される「声」に気づくこととでしよう。学業よりも何よりも、神様と出会うことよって与えられる、そうした真の心の強さを、英和での日々において身につけてほしいです。そのため自分を捧げることは嬉しい使命であります。そもそも人生半ばで神学校に入り直し献身した際の、私自身の願いがそこにありました。「人間をとる漁師にしよう」と主イエスが弟子たちを招きました。子どもたちを神の国へと導く神様が、東洋英和に打たれた網を引くお手伝いをする

ことができたと思います。

ただあまりに未知な仕事です。自分だからこそよく知る多くの弱さを思うと、これらに對して不安でいっぱいです。さらに思いもかけないような課題や試練が、この後小学部や私自身の行く手に待っていることとでしよう。そうした時も、自らの使命感や力を持って立ち向かうとするのでなく、与えられる神様からの力を祈り求めていきたいです。

小学部保健委員会の活動

昨年の夏休み初日に保健委員の子どもたち一〇人と教師三人で聖路加国際病院の細谷亮太先生を訪問しました。六月の委員会「病院にいる子どもたちのお世話をしてくださっている方を励ましてあげたい」という意見が出されました。細谷先生に伝えると、「いいよ。土曜日の午後においで」と快く承諾してください。先生が書かれた記事「記憶と絵本と平安」の「いのちを想う、クリスマス」や、ご本「心のノート」を読む宿題をいただきました。

当日はあいにくの雨の中、小児科外来で休み時間に一生懸命練習した組体操を披露し、元気な子のパワーで先生に喜んでもらいました。その後先生はビデオを見ながら、普通でいることの素晴らしさ、何気ない家族との生活こそが一番大切なものであることを死にゆく子どもから教わったと話されました。続いて院内学級、新生児室を案内して

くださいました。ガラス越しに見た赤ちゃんの小さな手を、子どもたちはどのよう感じたのでしょうか。

最後に小児科外来で「こはホテルみたい」と、子どもたちは目を輝かせ、あちこち触ったり、立ち止まった



細谷先生を囲んで

りと、五感で病院を見学しました。将来細谷先生のような素敵な小児科医が出現することを願いつつ、築地駅に向かいま

した。

六年生のお礼状

細谷先生、この間は病院見学をさせてくださって、ありがとうございました。先生がお話してくださった抗癌剤の薬を飲んでる男の子とアキレス腱を切った男の子のビデオはとても心が打たれました。「副作用で夜気持ちが悪くなったから、すぐ助けを呼べるように僕は夜中までずうーっと起きてるんだ」という相手を思いやる優しさをとても感じました。私は健康に暮らしているのに、相手を気遣うことができずにいます。自分もケガをしているのに思いやることができなくて、とても素敵なことだと思

いました。また、家族やクラスメート、先生など大事な人がそばにいることも神様に感謝したいです。この病院見学をして、命の大切さや、神様からの恵みを知ることができました。これからもお仕事がんばってください。(六年 保健委員児童)

〈高一〉

高一から美術は選択授業となります。前期は自画像の制作、夏休み前からは手鏡の制作に入ります。デザイン、彫り、塗装、と多くの複雑な工程を体験し、時間をかけて制作するので力作、秀作が多く出ます。



西田歩未 見事に描ききっています、秀作です (2007)



山田芙美歩 細かくよく描かれていますね、ポーズが面白いです (2006)



水戸奈津美 本人の個性がよく表現されています (2007)



中2と高一の秀作展示風景 (2007)



佐藤安純 和風の上品な花柄になりました、彫りも塗りも美しいです (2006)



藤下彩 朝顔の花びらの柔らかさがよく表現されています (2006)



島崎彩 花と水を組み合わせ合わせたデザイン、バランスよく構成されています (2006)

〈高二〉

デッサンや自由課題をやる他に、シュルレアリスムや構造主義など、様々な時代の美術運動なども取り上げて、それをもとに制作することもあります。



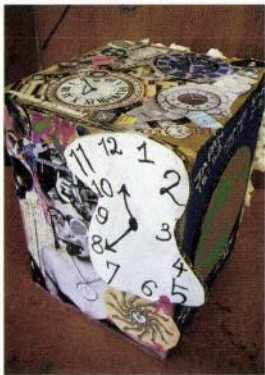
草野美香 アリアス像の美しさがよく描けています (2007)



富澤楓 色彩の組み合わせがよく、すっきりきれいな絵になりました (2007)

〈高三〉

11月末までの短い期間でデッサンと自由課題の二つを行います。一人ひとりがどんなテーマで何をやりたいか、先生と話し合いながら一年間のカリキュラムを作って制作を行います。自由課題ではただ上手だけでなく、制作者の内面が伺えるような興味深い作品が多くできあがります。



根本宗子 時計のオブジェ、6面全てに文字盤がアレンジされています (2007)



市川さくら 細部もよく観察され描き込まれています (2007)



外口理恵 デッサン力を活かした静物淡彩、空間がクリアです (2007)



富田美紀子 自由制作で可愛いカレンダーができました (2007)



堀江佳耶子 美術室の洗い場、何気ない風景ですが雰囲気が出ています (2007)

高三 邊見穂香さん二科展連続入選

邊見さんは独学で初めて描いた作品が全国学芸科学コンクールで旺文社赤尾好夫記念賞を受賞、2006年に二科展に初挑戦で初入選、2007年も連続して入選を果たしました。モチーフの選択や構成に独特な感覚を持ち、独創的な作品となっています。

2007年二科展入選「Everything～幻の王国～」(F100号)



美術科 誌上秀作展

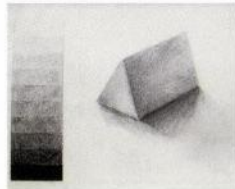
美術室では毎日にごやかで活気のある制作風景がみられます。

昼休みや放課後も自主的に補習を行う熱心な生徒も多く、感心させられます。

今回は2006年度と2007年度の秀作の中からいくつかご紹介していきたいと思います。

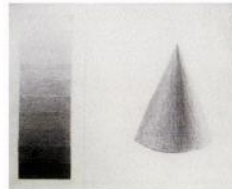
〈中1〉

鉛筆の使い方から始まり、グラデーションや幾何形体のデッサンで明暗や形のとり方など、美術の基本を学びます。2006年後期の立体制作では、粘土でシャツを制作しました。袋に入れてタグもつけてラッピングするとまるでお店で売っている本物の製品のようです。学校説明会で展示した際には「これは本当に中1が作ったのですか!」と見学者何人もの方々に驚かれました。



田嶋ひとみ

10段階のグラデーションが正確にできました。幾何形体の形もよく捉えています (2007)



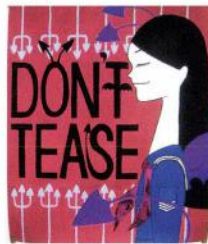
遠山莉奈



相川美菜子(左)、小黒日香理(右) シャツのひだや襟のひもなど細かいところもいねいに仕上げています (2006)

〈中2〉

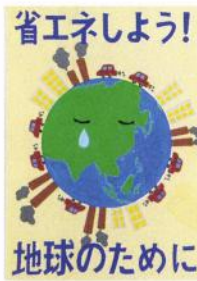
中2は2時間の連続授業で沢山の制作ができます。前期は鉛筆デッサン、後期はポスターと立体制作(粘土やダンボール)を頑張ります。ポスターは毎年テーマを決めて時間をかけて制作しています。2006年は「省エネを考える・エコポスター」、2007年は「学校生活でのマナー」、色々なアイデアで楽しいポスターが沢山できました。



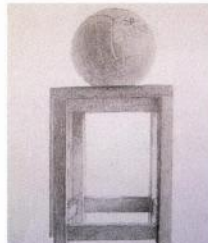
榎本日向子 図柄もレタリングもいねいに美しく仕上がっています (2007)



柴田真由子 面白いアイデアで判りやすいポスターになりました (2006)



吉江花織 可愛いデザインでバランスよくまとまっています (2006)



平野玲奈 光と影がうまく表現されています。存在感がありますね (2007)



山内彩華 発想がとても面白いです! 色味もきれいなよいポスターです (2007)

中山茉理央 とてもいねいによく観察して描かれています (2007)



〈中3〉

前期はシャンプーボトルの制作です。皆がプロダクトデザイナーになったつもりで購買層を設定し、デザインを考えます。短時間でアイデアを出し、形にしてまとめていく力はさすが中3です。後期はパステル画や静物淡彩など平面作品の制作で、この他にアジアやヨーロッパ美術の鑑賞授業も行っています。



加茂恵理子(左)、香月杏梨(中)、木村真利子(右) 発泡スチロールを削って加工しました。こんなシャンプーがお店にあったらきっと手にとってみたくなりますね (2007)

シャンプーボトル展示 森先生手作りの棚にて美術室前でお披露目しました (2007)



田南詩織 存在感のあるぶたさん、温かみのある空間を感じます (2006)



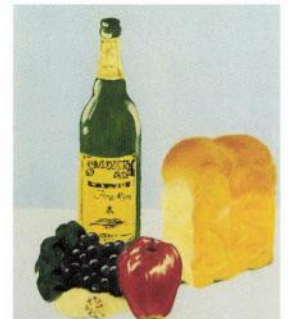
西田歩未 ふかふかのペアーの感触がよく出ています (2006)

課外油絵教室

毎週月曜の放課後に有志が集まって絵画教室を開いています。2005年から始まりましたが現在は中3が5名在籍しています。好きなモチーフを組んで静物画を描いたり、自分で取材してきた写真や資料をもとに風景や人物を描いたり、それぞれのペースで楽しく自由に制作しています。日本画や水彩画など他の技法に挑戦したり、コンクールに応募したり、一人ひとりの色々な可能性を広げてもらいたいと思っています。



楽しんで描いてください



蔵田夏美「静物画」まだ数枚目の作品ですが爽やかな色味でうまくまとめることができました (2007)

留学レポート・帰国レポート

東洋英和女学院大学の留学プログラムで留学を実現した学生達のレポートです。留学は楽しいことばかりではなく、苦労や辛いこともたくさんあることがうかがえます。それでも挫けずに、努力して乗り越えた彼女達の明るいパワーがここにあふれています。

国際社会学科 谷川 人美
サンディエゴ州立大学(アメリカ・協定校)



現在、私は交換留学生としてサンディエゴ州立大学(SDSU)で勉強しています。私のこちらでの専攻はアジア学です。前期は「アジア伝統

を含め五科目を、今期は「日本のメディアとポップカルチャー」を含め五科目履修しています。SDSUには世界中から沢山の人が留学にきています。そのため、この留学生活ではアメリカ人だけでなく世界各国の友人に恵まれています。渡米する以前は海外に憧れ、あまり日本の文化などを顧みていませんでしたが、友人達との会話では比較文化の話題になることも少なくなく、各国の文化は様々でもとても面白いです。それと同時に、外国人にとって日本の文化も同

様に興味深いものであるのだと実感しました。もっと自分の母国である日本について知りたいと思うようになりました。一〇ヵ月という一年に満たない短い留学生活ですが、様々な人との繋がりを大切にしていきたいです。残り数ヵ月、出来ることすべてに積極的に取り組んで、悔いのない留学生活にしたいです。

国際社会学科 樋口 亜由乃
デューク大学(アメリカ・推薦校)



デューク大学での留学生活も早半年が経とうとしています。新しい環境に適応し、

日々勉強の大変さを実感しますが、有意義かつ充実した留学生活を送っています。学生は、皆モチベーションが高く、授業以外にもたくさんの課外活動に参加しているため、常に目標を持ち、挑戦する姿勢は、私にとって良い模範です。私も普段の授業に並行し、ボランティア活動などの課外活動に取り組んでいます。その中でもキャンパス内にあるRonald McDonald Houseでのボランティア活動は印象的でした。また、

今学期は馬術の授業を履修していますが、いろいろなことに挑戦することによって、行動範囲も広がり、自分の視野も広がって来たように感じます。デューク大学の motto である「Play Hard, Study Hard」に合うように、与えられた機会と時間をフルに活用し、これからも様々なことをこの身で経験したいと思っています。

国際社会学科 小川 ルネ
センチナリー・カレッジ(アメリカ・推薦校)



六月末に渡米し、すでに七月が経ちました。ニューヨークの冬はとて

ころで蛩が飛び回っていました。その頃が今では思い出になっていて、時間の早さを実感します。新学期が始まった当初は、アメリカ人のルームメイト、履修科目の登録の問題などが、次から次へと起き、毎日とても悩みました。しかし、今では人に頼られるほどの余裕が生まれ、楽しい学校生活を送っています。今の自分があるのは、環境の違い、文化の違いで大いに悩み、苦労した時があったからだと思います。親の大切さ、友人との助け合い、過去の自分

への振り返り：アメリカに来て、たくさんの時間を得たことで、自分をより理解することができました。どんな環境でも負けずに挑戦し、そしてより成長して、日本に帰りたいと思っています。

人間科学科 菅原 詩織
ニューカッスル大学(オーストラリア・推薦校)



ニューカッスル大学では老若男女、国籍を問わず、様々な学生と授業を受けることができます。授業は参加型が中心で、学生は活発に発言

をします。意見を述べることに慣れていなかった私は、最初はついていくことに苦労しましたが、積極的に参加することで、他の学生とスムーズに交流ができるようになりました。社会学の授業で行うワークショップは高い理解力と思考力が求められる苦しいものですが、互いに切磋琢磨し、乗り越えることができました。また、同じ授業を履修していた学生の中には、家庭を持つ女性も多く、女性学を勉強してきた私にとって、彼女達の取り組み姿勢は目標となりました。誰にでも学ぶチャンスを与える自由さと自発型の授業は、私にオーストラリアで再

び勉強をしてみたいという気持ちを持たせてくれました。これからの目標は、自分の能力や考えが世界でも通用するように努力し、オーストラリアで勉強を再開できるようになることです。

国際社会学科 鈴木 理恵・高桑 友里江
メルボルン・プログラム(オーストラリア・推薦校)



私達は二〇〇七年二月から九月までオーストラリアのメルボルン大学付属ホーソン英語学校に留学していました。オーストラリアは多国籍国家というだけあつ

て、様々な人種の人々が生活しており、そのなかでメルボルンは文化的で歴史ある、緑豊かな街でした。世界中からの留学生が集まっている語学学校では、他国の人と交流する機会が多く、日本人としての意見を求められることもしばしばありました。また、サービスマーケティングというボランティア活動で幼稚園を訪問し、先生や園児と触れ合うことで生の英語に接する機会も多かったです。

この留学を通して、語学力を磨くことができたのはもちろん、積極的な行動力、コミュニケーションスキルを身につけることができました。今後は日本に限らず、世界へと視野を広げ多くの人々と関わっていきたいと思います。

国際社会学科 山田 芽里
イエディテペ大学(トルコ・協定校)



私は二〇〇七年二月から一学期間(四月半)、トルコ共和国・イスタンブール郊外にあるYeditepe Universityに留学しました。イスタンブールは観光地として有名で

アヤ・ソフィア、ブルーモスク、トプカプ宮殿など歴史的建造物が数多くあるところです。アジアとヨーロッパの間に位置している、さまざまな歴史や文化が混在したトルコでは、異文化の中でどのように生きていくかという力を養うことができました。自由奔放なトルコ人の生活リズムの違いや価値観の違いは私自身、戸惑う面もありましたが、そんな環境に身を置いたことで視野が広がりました。また、Yeditepeでトルコ人や世界各国からの留学生と出会えたことも大きな財産です。トルコでの留学生活は、自分の将来に直結するわけではありません。しかし、そこで学んだ人間と関わることのすばらしさや大きな視野によって、これから新しい人々と知り合い、話す際や新しいことを体験する際、自信を持って前向きな姿勢で取り組んでいけると思います。

東洋英和女学院大学留学プログラム

大学の留学プログラムには全学科対象の協定校留学・推薦校留学・認定校留学制度のほか、二〇〇七年度新設の国際社会学科国際コミュニケーション専攻の語学留学プログラムがあり、二〇〇八年度後期からいよいよ派遣が始まります。

そのほか、短期の海外研修プログラムとして、全学科対象の海外英語実習、人間科学科保育子ども専攻のフィールドワーク(二〇〇八年度より)、人間科学科人間文化専攻の国内外歴史文化研修(二〇〇八年度より)、人間福祉学科の国際社会福祉実習があります。

協定校留学	サンディエゴ州立大学(アメリカ) サレント大学(イタリア) 梨花女子大(韓国) チェンマイ大学(タイ) チュラロンコン大学(タイ) イエディテペ大学(トルコ)
推薦校留学	センテナリー・カレッジ(アメリカ) デューク大学(アメリカ) ニューカッスル大学(オーストラリア) メルボルン・プログラム(オーストラリア)
認定校留学	学生が自ら入学許可を得た大学学部への留学で、 本学が認めた場合

(国際交流センター事務局)

クラブ活動紹介

東洋英和女学院大学オーケストラ部

部の愛称は「森の音楽隊」です。少人数ながらお互いを高めあつて日々練習に励んでいます。入学式・卒業式における校歌の演奏、クリスマス礼拝のハレルヤ演奏など、学校行事への奉仕、かえで祭ではアンサンブルを主体とした軽音楽にも取り組みました。

学外では、隣接する二つの老人ホームでの慰問演奏会を行い、聴衆の感謝の言葉に励まされ、青葉台東急スクエアでのミニコンサートを行い、ちびっこ達が演奏に加わつて楽しい時を過ごしました。

部の集大成として、二月十七日、神奈川県公会堂で第六回定期演奏会を行いました。モーツァルト交響曲三番は洗練された美しき、スラブ舞曲八番はダイナミックな表現ができたと思います。当日は会場いっぱいのお客様がお越しくださいました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。



近隣の老人ホームでの慰問演奏会



クリスマス礼拝での演奏

顧問 国際社会学部教授 有田富美子

東洋英和
幼稚園



日本舞踊を観る会—衣装を着ける様子を見えています—

- アドヴェント礼拝 12月13日(木)
ホールに作られた馬小屋を囲み
母子でアドヴェント礼拝を守り
ました。
- 父と子の遠足 2月2日(土)
年長組の父子が那須へでかけ、
スキー場で雪遊びを楽しんだり、
牧場でジンギスカンをいただき
ました。
- 日本舞踊を観る会 2月13日(水)
日本舞踊振興財団の方々による
長唄「操三番叟」の公演や扇子、
楽器、白粉の体験コーナーを楽
しみました。
- ホームカミング 2月16日(土)
卒業した小学生二〇七名が幼稚
園に遊びにきました。二年ごと
に開いている同窓会のようなも
ので、多くのお母様の手をお借
りして楽しい一日をすごしまし
た。

大学付属
かえて
幼稚園



卒業遠足—青空の下、心弾ませて遊びました—

- クリスマス礼拝
クリスマス礼拝は、年中～年長
組の縦割りクラスの親子で夕方
から集い、礼拝を守りました。
三歳児親子の礼拝には五歳児有
志が加わり、共にページェント
をもって礼拝をしました。
- 始業礼拝
1月9日(水) 10日(木)
親子で集い礼拝を守り、神さま
を讃美しました。
- 父親保育参加 2月9日(土)
四歳の父子が遊ぶ日でした。普
段子どもたちが遊んでいる遊びに
お父さまにも参加して頂き、か
えて幼稚園が大切に行っているこ
とを伝えました。お餅つきも行
いました。
- 卒業遠足 2月20日(水)
年長の子どもたちと保育者全員
で、富士の裾野に出かけ、そり
滑りを楽しみました。

小学部



美術展「自分を見つめて」

- むかえようクリスマス
12月15日(土)
聖歌隊の合唱やハンドベルの奉
仕を通して、たくさんのお客様
と一緒にクリスマスをお祝いす
ることができました。
- クリスマス礼拝 12月19日(水)
との交流 1月18日(金)
文通を重ねてきた五年生。初対
面ながら英語の会話も弾み、楽
しいひとときを持つことができ
ました。
- マグノリアコンサート
1月30日(水)
各学年の合唱のほか、全校児童
で子どもオペラ「セビリアの理
髪師」を歌いました。
- 美術展 2月1日(金)～2日(土)
今年のテーマは「自分を見つめ
て」。壁二面に貼られた全校児童
の自画像が好評でした。

中高部



中学部鑑賞行事—中国雑伎や民族音楽を鑑賞しました—

- 中学部鑑賞行事
12月7日(金)
「中国民族芸術鑑賞・体験教室」
生徒達は中国雑伎の実演を驚き
の眼で見つ、民族音楽に耳を傾
け、楽しいひとときを過ごしま
した。
- クリスマス音楽会 12月8日(土)
大講堂が美しい音色で包まれま
した。主イエスのご降誕を生徒達
とお父様方の演奏で祝いました。
- クリスマス礼拝 12月20日(木)
中学部の高橋貞二郎先生、高等
部の八木浩史牧師(奥沢教会)
からのクリスマスメッセージは
クリスマスの意味を今年も確認
する機会となりました。
- 中学部入学試験
2月1日(金)～2月4日(月)
数多くの受験生に恵まれ、入試
は無事終了しました。新入生の
入学が待たれる日々です。

大学
大学院



クリスマス礼拝

- 清楓会クリスマス・パーティー
12月14日(金)
体育館を会場に、ご招待した地
元自治会の方や他大学の学生達
と一緒にダンス・演奏・手話の
実演で盛り上がり、楽しい時を
過ごしました。
- クリスマス礼拝 12月21日(金)
教学担当常務理事の大宮薄先生
から「天に栄光・地に平和」と
題してお話を伺い、ローソク
の灯火のもと、オーケストラ部
と聖歌隊の美しい調べに聴き入
りました。
- 大学入試
スカラシップ特別入試 12月16日(日)
一般入試 1月31日(木)
一般入試(後期) 2月20日(水)
- 大学院入試
前期入試(第一次) 2月9日(土)
前期入試(第二次) 2月16日(土)

子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。

マルコによる福音書 一〇章一四節



「主イエスの祝福を受ける子供たち」
田中忠雄 作 かえで幼稚園所蔵

イエスの子どもについてのこの言葉は、世々の教育者が子どもの教育を推進する支えとした聖句である。コメニウス、ペスタロッチ、フレールらは、この子どもに与えられている神の恵みに注目して教育の業に励んだ。そして、大人はこの子どもに与えられている神の恵みの業に驚いて、恥入って子どもから多くのことを学ぶことができるという教育観を生み出してきた。

この聖句を神学的にいかに解釈するかではなく、イエスが実際に現存する子ども達を抱き上げ、手を置いて祝福された、その行動に注目し、キリスト教育の教育信条として、この聖句を受け入れることが大切なのではないだろうか。神から差し出されている子どもを私達は教育するのである。

大学宗教学主任 吉岡 良昌

元々は宣教師の先生方のアイディア、「ままごと部屋」を訪ねました。

どてらを着た子ども達が畳にちゃぶ台を置き、お櫃からご飯をよそい、正座をしてお食事。流しでお片づけをしてからお布団を敷いて、「おやすみなさい」：平成の六本木でこんな光景が見られるとは誰が想像したでしょうか。今回は東洋英和幼稚園の「ままごと部屋」を訪問しました。

おままごとの部屋の歴史は古く、前の幼稚園園舎が二番地(現在の六本木五丁目交差点近く)にあった頃、宣教師の先生方が「日本人にはやはり畳が大切」とお考えになり、畳敷きの部屋がつくられたそうです。当時の写真からもその様子がうかがえます。そういった西洋の先生方のご意志を引き継いで、今の幼稚園園舎を建てる時にも畳敷きの「ままごと部屋」がつくられました。

大伴栄子園長によると、最近の子ども達は食事づくりのごっこ遊びがあまり得意ではなく、畳で寝るのが新鮮なのか、お布団を敷いて寝ることが一番のお気に入りとか。夜になっても「仕事に行ってくる」というお父様役もいて、おままごとは世相を反映しているようです。先生方と一緒にうちごっこをすることによって

日本の暮らしを学びます。遊ぶそばで子ども達の話聞いていたら「寝る前にはお祈りをしましょう」と言っていました。おままごとにも英和の子らしさが現れていました。



現在の幼稚園の「ままごと部屋」



二番地時代の「おままごとの部屋」



衛藤瀋吉先生

1923年瀋陽に生まれる。東京帝国大学法学部在学中に学徒動員。広島で被爆。戦後は東京工業大学助教授、東京大学教授、青山学院大学教授を歴任。1987年亜細亜大学学長に就任、「一芸一能入試」を導入。1998年から2002年まで本学院院長。1991年紫綬褒章、2001年勲二等瑞宝章。専門は国際関係論。著書は『近代中国政治史研究』『東アジア政治史研究』『衛藤瀋吉著作集』全10巻など多数。2007年12月12日永眠。



衛藤瀋吉先生を偲んで

副院長 吾妻 國年

先生のお名前を知ったのは一九七〇年前後、学園紛争が諸大学を席巻していた頃、雑誌や新聞での論評を読んだので事である。聖書学や神学だけでも難儀していた私には、先生の専門研究（御自身「我が砦、東アジア国際政治史」と呼ばれた）の領域や内容、お立場について知る由もなかったが、一読して、あの時代「悪霊に憑かれた」ように体制変革・革命を叫ぶ一部の学者青年学生集団の思想行動に対して、先生は基本的な距離を置くリベラルな学問的・政治思想的認識を有する学者、という印象を与えられた。程なく連合赤軍派の内部崩壊、やがてベルリンの壁崩壊、ソ連邦解体・冷戦時代の終焉。その後の時代が良くなったわけでは全くないが、学院が衛藤瀋吉先生をお迎えする事を知った時、私は新鮮な気持ちを抱いたのを覚えている。

先生は旧満州の奉天、現在の中国・瀋陽市にお生まれで、数学が得意だったとのこと。大の努力家で、優秀な成績で大学へ進まれている。一九六六年、第一回「吉野作造賞」を受賞し、

数多の研究論文・著書・論考・訳書、国際的学術会議講演、プリンストン大学客員教授、北京大学その他の講座担当、海外視察交流活動等、枚挙に遑がない。北京の要人達にも知己があり、政治経済の人的交流レベルでも有用なお働きをされたと側聞する。また優れた聖書神学者竹森満佐一牧師に親炙し洗礼を受けたが、瀋陽での御縁もあつたと伺った。

最初に驚かされたことがある。東洋英和をも巻き込む鳥居坂西部地区開発計画が浮上した時、反対すると思いきや、衛藤先生は「これを学院発展の好機へと転換すべきだ。『時代の流れに逆らう事はできない。』』と言われことである。『葉隠』の一節に酷似しているが、これは政治経済・歴史社会文化にわたる学問研究に根ざす深い人間学的洞察を踏まえての判断ではなかったかと今は考えている。因みに私は、先生から英和教育革新の課題に関して「武士道とは死ぬ事と見つけたり」をもって、教育者の心構えと覚悟の程を探られ、タジタジの思いになったのを昨日の

事のように思い起こす。国際的学術会議では英語で高度な議論をされる先生は、AFS理事もされて「東洋英和英語」の伝統をご存知で、そこには「要求の高さ」があった。中高部までの「生きた英語教育」の重要性を強調され、小学部初期からの英語教育とくに音楽や実技的学習での実践英語の効果を説かれた。中学部では独自の英語テキスト作成を「芦田基金」の御支援も頂いて具体化し、高等部カナダ学習旅行は「語学研修」とすることを指導された。また先生は情報教育の必要性と時代の要請を早くから認識されて、先ず教職員全員にその機器をもたせ、情報活動の組織的整備を積極的に推進された。さらに学院の財政基盤確立の課題として収支バランスの具体的問題を指摘され、その改善と指導は厳しかったが、学院にとってそれは大事な事柄であつたと思う。

思い出話のひとつ。陸軍通信隊士官（少尉）として広島駐屯の時に被爆されて、衛藤先生は長い年月原爆症で苦しんでおられた。しかしそれ以上に、原爆

投下直後の生き地獄を目の当たりにした時、先生は生涯懸けての「アメリカ復讐」を誓った（戦い？学問研究で？）という。ところがコロナ肺炎大学東アジア研究所高等研究員として米滞在中の或る日、雨上がりの道路での事。先生は大型乗用車の米人が「この東洋の日本人のために」泥水が撥ねかからないように水溜りを避けて通り過ぎていったのを知った。その時、薄れ始めてはいたが、先生の「復讐心」は完全に消えてしまった、と述懐された。障害のおありになる御兄弟をお持ちの先生は、真に弱い立場にある者への同情心篤いお人柄でありました。深い感謝の念を抱きつつ、主キリストの贖いの御手における先生の霊の平安を心よりお祈りいたします。



高等部卒業式で祝辞を述べられる衛藤先生

2008年度 行事予定

小 学 部		東洋英和幼稚園		大学付属 かえで幼稚園	
4月	8日(火) 始業式 10日(木) 入学式	4月	9日(水) 始業礼拝 15日(火) 入園式	4月	8日(火) 始業礼拝(進級児) 9日(水) 新入園児始業 11日(金) 入園式 26日(土) ワーク(5歳児、父親保育参加及び家族のバーベキュー、年4回実施)
5月	2日(金) 春の遠足 14日(水) ペンテコステ礼拝 31日(土) 運動会	5月	1日(木) 新入園母子歓迎会 22日(木) はみがき指導	5月	1日(木) 園外保育(4歳児) 8日(木) 園外保育(5歳児) * 園外保育(3歳児)
6月	11日(水)～13日(金) 4年 追分の生活 * 学校説明会① 27日(金) 鑑賞の日 * 学校説明会②・土曜参観	6月	4日(水) 春の遠足(金沢八景) 7日(土) 父母の会 27日(金) 银杏の木献金セール	6月	28日(土) 父親講演会
7月	追分の生活 15日(火)～17日(木) 1年1組 17日(木)～19日(土) 1年2組 19日(土)～21日(月) 2年1組、6年1組 21日(月)～23日(水) 2年2組、6年2組 23日(水)～25日(金) 3年1組・2組 25日(金)～28日(月) 5年1組・2組	7月	9日(水)～11日(金) 年長組(5歳児)キャンプ (軽井沢追分寮) 16日(水) 終業礼拝 18日(金) 入園説明会① 21日(月) 入園説明会② 26日(土) 入園説明会③	7月	17日(木) 終業礼拝 たのしみ会(3歳児) 18日(金) 夕涼み会 22日(火) 母親講演会
8月		8月		8月	28日(木)～9月2日(火) 夏期保育
9月	23日(火)～26日(金) 6年 修学旅行(北海道)	9月	5日(金) 始業礼拝 26日(金) 祖父母の会	9月	3日(水)～5日(金) 軽井沢キャンプ(5歳児) 9日(火) 始業礼拝(4、5歳児) 10日(水) 始業礼拝(3歳児)
10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 9日(木) 秋の遠足(1～5年生) 10日(金) 前期終業式 14日(火) 後期始業式 * 球技会	10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 18日(土) ひよこ組(3歳児) 年少組(4歳児)父と遊ぶ日 20日(月)～24日(金) 入園考査	10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 18日(土) ファミリーデー(4、5歳児) (大学校地) 20日(月) オープンデー(3歳児) 22日(水) 入園説明会
11月	1日(土) 入学考査 6日(木) 学院創立記念日 28(金) 学芸会	11月	6日(木) 学院創立記念日 14日(金) 年長組 りんご園遠足 (長野県上田市)	11月	1日(土) 入学願書受付 4日(火) 芋ほり(4、5歳児) 6日(木) 学院創立記念日・音楽会 25日(火) アドヴェント礼拝I
12月	1日(月) クリスマスツリー点灯式 13日(土) むかえようクリスマス 18日(木) クリスマス礼拝	12月	10日(水) 母の会アドヴェント礼拝 16日(火) アドヴェント終業礼拝	12月	1日(月) アドヴェント礼拝II 8日(月) アドヴェント礼拝III 15日(月) クリスマス礼拝(3歳児) 17日(水)・18日(木) クリスマス礼拝(4、5歳児) 22日(月) 小学生クリスマス礼拝
1月	30日(金) マグノリアコンサート	1月	9日(金) 始業礼拝 * おもちつき * 年長組 ACEF訪問	1月	9日(金) 始業礼拝(4、5歳児) 12日(月・祝) 始業礼拝(3歳児)
2月	10日(火)～11日(水・祝) 美術展 17日(火)～20日(金) クラブ発表週 * 親子討論会	2月	7日(土) 年長組 父と子の遠足 (栃木県那須高原) 16日(月) 日本舞踊を観る会	2月	7日(土) 父親保育参加(4歳児) 18日(水) 卒業遠足(5歳児) * もちつき
3月	17日(火) 卒業式 18日(水) 修業式 23日(月)～25日(水) 歴史探訪の旅(奈良・京都) 23日(月)～26日(木) スキー教室(熊ノ湯)	3月	* お別れ会 * 課外日舞おさらい会 * 課外ピアノ科おさらい会 11日(水) 終業礼拝 12日(木) 卒業式	3月	17日(火) 終業礼拝(3歳児) 18日(水) 終業礼拝(4歳児) 19日(木) お別れ会 20日(金) 保育証書授与式

*印は日程が未定です。(3月31日現在)

2008年度 行事予定

大 学 院		大 学		中 高 部	
4月	5日(土) 入学式・オリエンテーション 19日(土) 修士論文題目届提出締切日 (2008年9月修了見込者) 博士論文題目届提出締切日 (2009年3月修了見込者)	4月	2日(水) 入学式 3日(木)～8日(火) 学内オリエンテーション 26日(土) プレイデー (幼免課程履修生)	4月	7日(月) 中学部入学式 8日(火) 中学部始業式 高等部入学式・始業式 26日(土) 授業公開日・母の会総会
5月	24日(土) 入試説明・相談会 (両研究科)	5月	28日(水)～29日(木) 1年生オリエンテーション合宿 (人間科学部) 29日(木)～30日(金) 1年生オリエンテーション合宿 (国際社会学部)	5月	7日(水)～9日(金) 高3修養会(天城) 12日(月)～16日(金) 高2修学旅行(広島・長崎) 12日(月)～16日(金) 中1オリエンテーション前後期 (軽井沢追分) 14日(水) 中2～高1学年行事 / 高3模試
7月	3日(木) 修士論文 / 研究成果レポート提出 締切日(2008年9月修了見込者) 5日(土) 2008年度修士課程後期入学試験 26日(土) 入試説明・相談会 (両研究科)	6月	7日(土) 保護者と教職員の懇談会 15日(日) オープンキャンパス 21日(土) 東京女子大学スポーツ交流会	6月	5日(木)～10日(火) I 期中間試験 10日(火) 中1・2鑑賞行事(午後) 19日(木)～20日(金) 高1カンファレンス(軽井沢) 27日(金) 合唱コンクール(中学部) 球技会(高等部) 28日(土) オープンスクール
8月	30日(土) 2008年度後期科目等履修生・プログラム履修生試験	7月	26日(土) オープンキャンパス	7月	19日(土)～21日(月) オープニングキャンプ(野尻) 18日(金)～8月8日(金) 語学研修旅行(カナダ) 22日(火)～29日(火) 中2夏期学校前後期(野尻) 30日(水)～8月2日(土) 訓練キャンプ(野尻)
9月	13日(土) 人間科学研究科修士課程 2009年度前期(秋季選抜)一次試験 国際協力研究科修士課程 2009年度前期(秋季選抜)試験 20日(土) 学位授与式 / 入学式・オリエンテーション 21日(日) 人間科学研究科修士課程 2009年度前期(秋季選抜)二次試験	8月	23日(土) オープンキャンパス	8月	2日(土)～7日(木) キャンプ(野尻) 4日(月)～6日(水) 夏期修養会
10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 4日(土) 修士論文題目届提出締切日 (2009年3月修了見込者) 25日(土) 入試説明・相談会 (国際協力研究科のみ) 31日(金) 博士論文提出締切日 (2009年3月修了見込者)	9月	15日(月・祝) オープンキャンパス	9月	6日(土) 第1回学校説明会 18日(木)～25日(木) I 期期末試験
11月	6日(木) 学院創立記念日 22日(土) 入試説明・相談会 (人間科学研究科のみ)	10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 11日(土) オープンキャンパス 26日(日) 公募制推薦入試、同窓生子女枠 特別推薦入試、一般・社会人編 入試、外国人留学生入試	10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 3日(金) 第II学期始業礼拝 11日(土) 体育祭 24日(金)～25日(土) 楓祭
12月	4日(木) 修士論文 / 研究成果レポート提出 締切日(2009年3月修了見込者) 6日(土) 国際協力研究科修士課程 2009年度前期(冬季選抜)試験	11月	2日(日)～3日(月・祝) かえで祭 6日(木) 学院創立記念日 10日(月) 創立記念礼拝 22日(土) オープンキャンパス 28日(金) チャペルコンサート * 収穫祭(幼免課程履修生)	11月	6日(木) 学院創立記念日 4日(火)～7日(金) 創立記念特別週間 15日(土) 第2回学校説明会 21日(金) 球技会(中学部)
2月	7日(土) 人間科学研究科 2009年度前期(春季選抜)一次試験 14日(土) 人間科学研究科 2009年度前期(春季選抜)二次試験 国際協力研究科 2009年度前期(春季選抜)試験	12月	3日(水) アドヴェント夕礼拝 6日(土) オープンキャンパス * 清楓会クリスマスパーティー 21日(日) スカラシップ特別入試 22日(月) クリスマス礼拝	12月	3日(水)～9日(火) II 期中間試験/高3期末試験 13日(土) クリスマス音楽会 19日(金) クリスマス礼拝
3月	7日(土) 2009年度前期科目等履修生・プログラム履修生試験 21日(土) 学位授与式	1月	17日(土)～18日(日) 大学入試センター試験 31日(土) 一般入試	2月	2日(月) 入学試験A日程 4日(水) 入学試験B日程
3月		2月	20日(金) 一般入試(後期)	3月	2日(月)～6日(金) II 期期末試験 16日(月) 中学部卒業式・修業式 高等部修業式 17日(火) 高等部卒業礼拝 18日(水) 卒業式 20日(金)～4月3日(金) 短期留学(アメリカ) 23日(月)～26日(木) スキー教室(志賀高原) 24日(火)～27日(金) 聖書科学習旅行(沖縄)
3月		3月	13日(金) 卒業礼拝 19日(木) 卒業式	3月	

全 学 院			
4月	1日(火) 新任者辞令交付式 11日(金) 全学院新年度礼拝・歓迎会	11月	6日(木) 学院創立記念日 永年勤続者表彰式 全学院研修・懇談会 (六本木校地) 11日(火) カナダ宣教師墓前礼拝 * ハンドベルフェスティバル
6月	27日(金) 後援会常任役員会・役員会・総会	12月	5日(金) 全学院クリスマス礼拝
未定	三英和懇談会(於 山梨英和)	3月	6日(金) 後援会・母の会役員・学院懇談 会 / 後援会常任役員会 25日(水) 退職者送別会
9月	5日(金) 後援会・母の会役員・学院懇談 会 / 後援会常任役員会		
10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 10日(金) 後援会役員会		

英和の植物通信

～目を近づければ楽しさ無限～ No.12

絵・文・写真：中池 敏之

(大学非常勤講師：博物館概論等担当)



クマガイソウ (横浜キャンパス)

クマガイソウ (熊谷草)

春、横浜キャンパスは、草木の花や若葉でそれはもう賑やかなこと。一端を写真と線画で紹介したい。

クマガイソウは、大きな葉2枚を舞台上に神秘的な色と形の花で登場する。林の中でこの花に出会うと嬉しくなって、花の前に座り込んでしまう。かつては、子ども達がこの花を植物遊びの一つ「ポン遊び」として、利用していた。当時は各地に一杯生えていたのだらう。

この花は、1700年代、日本の植物をいち早く研究したツクンベリーによって世界に紹介された。その歴史性と風格からまさに日本を代表する名花の一つである。



ムラサキマムシグサ
紫色と白色の縞模様が
ポイント。

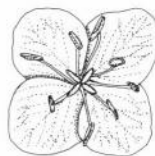
ホオノキ
よい香りが、高い所に咲いては
花を教えます。

クサボケ
赤紫色の花が、林床で
輝きまわります。

ヤマサクラ
花と葉のバランスが
絶妙。



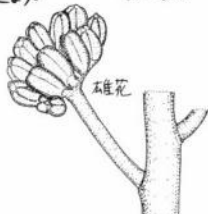
ワニグチソウ
白色の花が、仲良く咲きます。



ユウゲショウ
うす紅色の花弁に
濃い紅色の月夜。



ミズギ
葉の裏面は、みずから露の
羽化を見守ります。



ユズリハ
ふいばの葉は、ハチの
房に似ています。

片山廣子の著作が復刊されました

片山廣子は東洋英和の卒業生であり、歌人、「松村みね子」の名でアイルランド文学の翻訳でも知られています。芥川龍之介や堀辰雄が敬慕した文学者でもあります。

片山廣子の著作は絶版状態でなかなか手に入れることがむずかしかつたのですが近年月曜社より復刊されました。是非、ご一読ください。

『燈火節』6,090円(税込)
随筆と小説が網羅されています。



『野に住みて』
6,720円(税込)
全短歌を収録。詳細な
資料付きです。

『新編 燈火節』
1,680円(税込)
随筆を中心としたコンパクト版です。

東洋英和女学院学院報 楓園 第52号

発行日：2008年4月22日
編集：学院報編集委員会
発行：学校法人 東洋英和女学院
東京都港区六本木5-14-40
TEL 03-3583-3325
メールアドレス
koho@toyoeiwa.ac.jp
ホームページアドレス
http://www.toyoeiwa.ac.jp/

東洋英和女学院同窓会総会

日時：2008年6月7日(土) 13:10より
会場：新マーガレット・クレイグ記念講堂
(六本木校地)
礼拝説教：山北 宣久 牧師
(日本基督教団議長・聖ヶ丘教会牧師)
奏 楽：米山 浩子
(バイオリン奏者・東昭56年卒)
総会議事：前年度行事報告・決算報告・監査報告
新年度行事案・予算案・新役員人事・承認
終了後お茶の用意を致しておりますのでご自由にご談話下さい。
(15:30 終了予定)

各同窓会総会	保育部会	11:00	中高部小講堂
	かえで会	11:15	中高部集會室
	楓美会	11:30	本部大学院棟
	東光会	12:30	中高部小講堂
	楓雅会	12:30	中高部集會室
	大学院	12:30	本部大学院棟

新入会員のご紹介
卒業式と共に若い皆様をお迎えし、心より感謝
しております。
東光会(高等部同窓会) 一八五名
楓美会(大学同窓会) 五八九名
任意加入
同窓会総会のご案内
各会同窓会総会、東洋英和女学院同窓会(全体)
総会が同日日に行われます。母校で同窓生が共に
過ごすひとときをお楽しみ下さい。きつと英和の
素晴らしさを新たに見出す日となるでしょう。

同窓会より

後援会・母の会役員・学院懇談会報告
後援会・母の会役員・学院懇談会
が三月七日にANAインターコンチ
ネンタルホテル東京にて開催されま
した。
前回(二〇〇七年九月七日)に引
き続き、和やかな懇談形式ではあり
ますが、出席者からは活発な意見が
出され、予定より大幅に時間が延長
されたほどでした。
学院より、六本木鳥居坂西地区の
再開発計画に関することや、本学院
に関係する個人及び諸団体による新
たなネットワークの構築が期待され
る「東洋英和「楓」協力会(仮称)」
の設立準備、そして野尻キャンパス場
改修工事の進捗状況などが説明され
ました。まさに新しい時代に東洋英
和がどのように進んでいくのか、そ
の構想は非常に興味深いものでした。
懇談会終了後に、後援会の常任役
員会が開催され、今年度の全日程を
終了しました。

後援会より